

2006年6月21日

記者各位

出光興産株式会社

S P S樹脂、欧州でのコンパウンド製造・販売を開始
～ 世界四極でのコンパウンド体制確立 ～

当社（本社：東京都千代田区、社長：天坊 昭彦）は、自社独自開発の耐熱性エンジニアリングプラスチックであるシンジオタクチックポリスチレン（S P S）樹脂のコンパウンド製造を欧州で開始しました。

当社は、これまでS P S樹脂のコンパウンド製造を日本、アジアおよび北米で行っていましたが、今回の欧州でのコンパウンド製造スタートにより、グローバルな供給網を構築しました。

S P S樹脂は、当社が1985年に世界に先駆けて発明した材料です。メタロセン触媒を用いて、ポリスチレンをシンジオタクチック構造にすることで、耐熱性の高いエンジニアリングプラスチックとしての特性を付与することに成功、1997年より供給を開始いたしました。

さらに、本技術に興味を持った米国の大手化学メーカー、ダウケミカル社（ダウ）に基本技術のライセンスを行い、共同で技術開発・市場開拓を進めてきました。

これまで北米および欧州ではダウ社が独自のS P Sコンパウンド（商標：QUESTRA）を、当社は日本、アジアを中心に同コンパウンド（商標：XAREC）を販売しておりましたが、ダウ社の生産中止に伴い、当社は事業地域をグローバルに拡大することとしました。

その第一弾として北米でのコンパウンド製造を本年1月より開始しましたが、このほど欧州での準備が整い、本年5月より英国ペライト社でのコンパウンド製造と、出光ケミカルズヨーロッパ社（当社の現地法人）による販売を開始いたしました。これにより世界四極でのS P S供給網が整備できました。

S P Sは、耐熱性、電気特性、耐薬品性、耐スチーム性、軽量性などに特長があり、当社では、鉛フリーハンダ対応のコネクタなどの自動車電装部品、IH炊飯器・洗濯乾燥機など、加熱部のある家電部品、アンテナなどの電子部品に用途を拡大しております。

今後は、当社が蓄積したノウハウをベースに、欧州地域においても、自動車部品や電気電子部品などの新規顧客の開発に注力し、S P Sをグローバル商品として育成していきます。

< 欧州コンパウンド事業の概要 >

- ・製造拠点 ペライト（英国ウォリントン）
- ・販売拠点 出光ケミカルズヨーロッパ（ドイツ国デュッセルドルフ）
- ・生産開始 2006年5月

～ お問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報室 （加来） TEL：03 - 3213 - 3115
機能性樹脂部（岡田） TEL：03 - 3213 - 9550

URL <http://www.idemitsu.co.jp>

人上